



イチゴ編



病害虫注意報
2018年6月作成

※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。

切り離し前にしっかり防除を行い、苗床での病害虫発生を少しでも抑えましょう！

ランナー切り離し前 おすすめローテーション

時期	対象病害虫	薬剤名	倍率	使用時期	回数	影響日数	
						ミツバチ	マルハナバチ
6月①	炭疽病・灰色かび病 うどんこ病	シガナムWDG 予・治	1,500~ 2,000倍	前日	2回	—	
	※炭疽病・うどんこ病は2,000倍						
6月②	ハダニ類	コマルト乳剤 速 卵 成虫 幼虫	1,000~ 1,500倍	仮植前 まで	2回	1日	
	うどんこ病	バルクト水和剤 予	4,000倍	前日 (生育期)	5回	0日	
6月③	ハダニ類・アブラムシ類 コナジラミ類・うどんこ病	フーモン ※ 野菜類登録 速 成虫 幼虫	1,000倍	前日	—	—	
	炭疽病・灰色かび病 うどんこ病	アミスター-2070アブル 予・治	1,500~ 2,000倍	前日	3回 (本圃)	0日	1日
※灰色かび病は1,500倍、炭疽病は2,000倍							
6月④	ハダニ類・コナジラミ類 ワタアブラムシ・チャホリダニ シラメンホリダニ	サンマイルアブル 速 卵 成虫 幼虫	1,000~ 1,500倍	収穫開始 3日前まで	1回	4日	1~4日
	炭疽病・灰色かび病	ファンタジスタ顆粒水和剤 予・治	2,000~ 3,000倍	前日	3回	1日	1日
※炭疽病は2,000倍							
6月④	アブラムシ類・コナジラミ類 アザミマダニ類	モバントアブル 遅 幼虫	2,000倍	前日	3回	1日	30日

★ いずれの薬剤も、高温時・多湿時の散布は控えその日のうちにきちんと乾かしましょう！

これから気を付けたい病気

【炭疽病】 クラウンの外表面から中心方向へ褐変が進行



- 発病適温；25~30℃
- 発病時期；6月下旬~10月上旬
- クラウンの傷口から伝染しやすいため、
葉かきと薬剤散布を同時に行いましょう！
- 水跳ねによる二次伝染に注意しましょう！

土壌改良材！ふかふか全快セット！

セット内容

1. 土力全快
2. ハイプロN
3. カニツバ



100坪あたり使用量 1袋 3袋 3袋

本圃の残根処理にもおすすめです！

硬く締まった土をふかふかにしましょう！

- 土壌に混和して使用します。使用時期・手順などの詳細は、別紙チラシを参照してください。
- 左記資材には、窒素成分がそれぞれ1.65~3%含まれます。初期のECに注意してください。

おすすめ資材

光合成能力を高めて
早めの梅雨対策に！



↑ ンキ-7
Hyper5000

肥料登録：生第93701号